

法藏館書店ニュース 3月

目次

話題の本	P1	特集1:近藤俊太郎先生『親鸞とマルクス主義』	
法藏館新刊案内	P2~3	「紀伊國屋じんぶん大賞」ランクインおめでとう特集	P12~13
法藏館重版案内	P4	特集2:市原栄光堂の法話CD発売!	P14
法藏館刊行予定案内	P4	お知らせ	P15
法藏館書店新着案内	P5~11	法藏館書店ベスト10・メール配信サービスご案内	P16

★お知らせ★ 3、4月の書店休業日

3月のお休み：6日・13日・20日・27日

4月のお休み：10日・17日・24日 ※4/3(日)は営業いたします

話題の本

- 本願寺新報(2022/2/10)、●中外日報(2022/1/21)
- 文化時報(2022/1/14)

『真宗悪人伝』

井上見淳著・四六判・284頁・1,980円・ISBN:978-4-8318-8790-0



- 2022紀伊國屋じんぶん大賞(2022/2/1)

『親鸞とマルクス主義—闘争・イデオロギー・普遍性』

近藤俊太郎著・A5判・544頁・8,250円・ISBN:978-4-8318-5565-7



- 中日新聞[朝刊](2022/2/1)

『真宗と現代葬儀—「葬儀」と「死」のゆくえ』

蒲池勢至著・四六判・148頁・1,430円・ISBN:978-4-8318-6269-3



- 月刊 大和路ならら 2月号(2022/2/1)

『天平芸術の工房』 法藏館文庫

武者小路 穰著・山岸公基解説

文庫判・240頁・1,320円・ISBN:978-4-8318-2627-5



- 文化時報(2022/1/14)

『石山合戦を読み直す—一軍記で読み解く日本史』

塩谷菊美著・四六判・272頁・2,200円・ISBN:978-4-8318-6268-6



法蔵館文庫

◆死と運命——中国古代の思索

【中国思想】

金谷 治著・中嶋隆藏解説・文庫判・272頁・1,210円
ISBN:978-4-8318-2632-9

「こののっぴきならない生命とはいったい何なのか」。中国古代における死、運命、欲望に関する思索を討尋し、生存の意味を追求する。

■目次

- I
死して亡びざる者は寿——『老子』の死生観
死生は命なり——『莊子』の死生観
不死への希求——神僊の形成
淮南王登仙の夢——『淮南子』の背景 ほか



日文研叢書第60集

◆世界文学としての方丈記

【日本文学】

プラダン・ゴウランガ・チャラン著・四六判・360頁・3,850円
ISBN:978-4-8318-7756-7

夏目漱石や南方熊楠の英訳により、『方丈記』が〈日本三大随筆〉から、世界文学の最高傑作として受容された過程を追った、初の研究。

■目次

- 第1部 日本国内における『方丈記』の受容
第2部 自然文学作品としての『方丈記』
第3部 19世紀末・20世紀初頭の英語圏における『方丈記』の流通と受容の諸相 ほか



◆雲岡石窟中小窟龕の展開

【中国美術／中国仏教】

——装飾・空間・工人

熊坂聡美著・B5判・316頁・13,200円・ISBN:978-4-8318-6330-0

巨大石窟造営の原動力は何か。国家事業である大型窟とは異なり、皇帝以外の人々が発願し造像した中小窟龕を通して石窟の全体像に迫る。

■目次

- 第1章 曇曜五窟開鑿期の仏龕
第2章 第5窟と仏龕
第3章 第11・12・13窟外壁窟龕の位置づけ
第4章 中小窟龕の造窟思想 ほか



◆『注大般涅槃經』の文献学的研究

【仏教学】

青木佳伶著・A5判・472頁・9,900円・ISBN:978-4-8318-6392-8

重要文化財にも指定される『注大般涅槃經』。現存巻のうち二、八、十二、二十二を中心に取り上げ、その全体像の解明を企てる。資料篇には四巻の全文翻刻を掲載。

■目次

【研究篇】

- 第一章 日本に現存する『注大般涅槃經』
 - 第二章 導江県令章諤の活躍年代と著述
 - 第三章 唐導江県章諤撰『注大般涅槃經』の成立
 - 第四章 『注大般涅槃經』の經典本文と注
 - 第五章 結 論
- 【資料篇】 ほか

ためし読み



◆貞慶撰『唯識論尋思鈔』の研究

【仏教学】

——「別要」教理篇・上

【龍谷大学仏教文化研究叢書43】

楠 淳證、後藤康夫編・A5判・1,484頁・22,000円・ISBN:978-4-8318-6393-5

法相教学確立に大きく貢献した解脱房貞慶。その代表作『尋思別要』の論義テーマ七十余条のうち二十九条について翻刻・訓読・語註・解説を掲載する翻刻読解研究書。

■目次

- 第一部 総 論
 - 第一章 法相教学の相承と展開
 - 第二章 貞慶撰『唯識論尋思鈔』の編述・諸本・構成
 - 第二部 『唯識論尋思鈔』の翻刻読解研究
 - 第一章 種姓段(論第一巻)
 - 第二章 縁起段(論第一巻)
- ほか

ためし読み



◆綱島梁川の宗教哲学と実践

【哲学／思想】

古荘匡義著・A5判・276頁・1,980円・ISBN:978-4-8318-6394-2

明治時代、煩悶青年を魅了した思想家・綱島梁川。「宗教哲学」と呼びうる哲学的な宗教論と祈禱や伝道といった「宗教実践」を分析し、綱島思想の展開を描出する。

■目次

- I 宗教思想の変遷
 - 1 綱島梁川の信仰と思想の変遷
 - 〈文献案内〉綱島梁川研究
 - II 宗教哲学
 - III 宗教実践
 - IV 綱島梁川の宗教学的、宗教哲学的位置づけ
- ほか

ためし読み



法藏館重版案内

◆定本 教行信證

12刷【仏教／真宗】

親鸞聖人全集刊行会編・細川行信著・A5判・388頁・6,050円
ISBN:978-4-8318-4012-7

坂東本を底本とし、西本願寺本、専修寺本によって校訂した「教行信証」(『定本親鸞聖人全集』所収・法藏館刊)を、さらに詳細厳密に再校訂し、テキストとして便利なように、大判大活字とした。

■目次

顕浄土真実教行證文類序

顕浄土真実教文類一

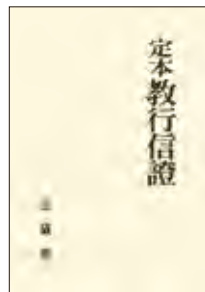
顕浄土真実行文類二

顕浄土真実信文類序

顕浄土真実信文類三

顕浄土真実證文類四

ほか



法藏館刊行予定案内

〈2022年4月 刊行予定〉

◆現代語訳 一遍上人縁起絵 全十巻

【仏教／時宗】

『一遍上人縁起絵』現代語訳研究会編・A5判・224頁・2,750円・ISBN:978-4-8318-7586-0

時宗教団において、一遍と二祖他阿弥陀仏真教の正当な伝記として、国宝『一遍聖絵』よりも重要視される『一遍上人縁起絵』(『遊行上人縁起絵』)全十巻。

その詞書のすべてを現代語訳する。原文と詳細な語註も併せて収録。

◆現代語訳 他阿上人法語

【仏教／時宗】

『他阿上人法語』現代語訳研究会編・A5判・予512頁・3,850円・ISBN:978-4-8318-7587-7

時宗教団の宗祖一遍につづく二祖他阿弥陀仏真教が残した消息法語および和歌を収録編纂した『他阿上人法語』全八巻。そのうち、和歌を除く七巻のすべてを現代語訳する。原文と詳細な語註も併せて収録。

◆近現代日本とエホバの証人——その歴史的展開

山口瑞穂著・四六判・332頁・3,300円・ISBN:978-4-8318-5724-8

【宗教社会学】

エホバの証人は日本においていかに展開したのか。いまだ学術的な検討がなされていないその課題に宗教社会学的な視点から挑み、新宗教研究に新たな知見と視点を提供する。

◆憑霊信仰と日本中世社会

徳永誓子著・A5判・304頁・3,850円・ISBN:978-4-8318-6071-2

【日本史】

人はモノノケをいかに調伏したのか? 10~14世紀において憑霊を利用したヨリマシ加持をめぐる仏教と神祇信仰の交錯、それに関わった宗教者の展開を明らかにする。

法蔵館書店新着案内

◆その日まで

瀬戸内寂聴著・四六判・182頁・1,430円〈講談社〉

99歳、最期の長篇エッセイ。切に愛し、いのちを燃やし、ペン一筋に生き抜いた。70余年にわたる作家人生の終着点。「結局、人は、人を愛するために、愛されるために、この世に送りだされたのだ。充分、いや、十二分に私はこの世を生き通してきた」人生でめぐり逢った忘れえぬ人々、愛した男たち、そして家族の記憶。99歳まで現役作家としてペンをふるった著者が、自らの老いに向きあい、「その日」をみつめて綴りつづけた、最後の自伝的長篇エッセイ。



◆寂聴さんに教わったこと

瀬尾まなほ著・B6変判・204頁・1,320円〈講談社〉

追悼 瀬戸内寂聴さん

66歳年下の秘書が、誰よりも近くで見つめつづけた寂聴さんの最期の日々と、愛の教え。寂聴さんの素顔を伝える写真多数収録。「10年間、私が見てきた寂聴先生の素顔と、先生から私が教わったこと、先生の情熱と愛溢れる生き方が、この本を読んだ人に伝わってくれたらうれしい。」(本文より)

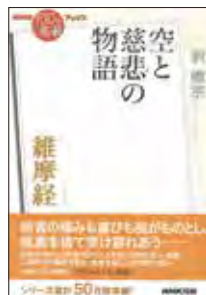


NHK 100分de名著

◆維摩経——空と慈悲の物語

釈 徹宗著・四六判・171頁・1,100円〈NHK出版〉

「100分de名著」で2017年6月に放送され、大好評を博した『維摩経』がついに単行本化。特別章「空だからこそ」を加筆。他者の痛みも喜びも我がものとし、執着を捨て受け容れあう。世俗を肯定し、己を解き放つことを説く在家の老人・維摩。二項対立の陥穽を教え、他者を重んじる思想に迫る。



◆維摩さまに聞いてみた

——生きづらい人のためのブッダのおしえ

細川貂々著・釈 徹宗監修・四六判・165頁・1,540円〈晶文社〉

般若経、法華経と並ぶ仏教の代表的な教典、維摩経の物語世界をマンガ化。空とは、解脱とは、さとりとは、といった仏教のおしへの根幹を、スーパー在家者「維摩さま」と文殊菩薩との会話でわかりやすく解説する。



◆解説教行信証 下巻

真宗大谷派教学研究所編・A5判・360頁・4,180円〈東本願寺出版〉

宗祖親鸞聖人が60歳過ぎから晩年にかけて常に筆を足して完成していった主著『教行信証』のうち、「真仏土巻」「化身土巻」をわかりやすく現代語訳。読みやすさ、訳の美しさにこだわり抜いた、教学研究所渾身の一冊。用語を簡単に説明した脚註、さらに詳しい説明を要する用語は巻末に語註を掲載。『教行信証』に親しんでいただく入門書としても活用いただける一冊です。



◆教師試験検定問題集15

真宗大谷派編・A5判・55頁・660円〈東本願寺出版〉

2019年(春期)から2021年(夏期)まで計6回分の【真宗学】【仏教学】【教化】【声明作法】【法規】の教師試験検定問題を収載。巻末には【真宗学】【仏教学】の論述問題の「解答のポイント」を掲載。



伝道ブックス84

◆人間で在ることの課題

中川皓三郎著・新書判・89頁・275円〈東本願寺出版〉

小鳥が啼かないでいられず魚が泳がずにいられないように、人間は何をしないでいられないだろうか。何をもって私たちは、本当に人間らしい人間といえるのだろうか……。

人と生まれた私たちが、誰もが応えていかねばならない、「もっとも人間らしい人間になる」という課題を、釈尊(お釈迦さま)、そして親鸞聖人の教えにたずねる一冊。



◆親鸞教學 114

大谷大学真宗学会編・A5判・136頁・1,100円〈文栄堂〉

■目次

「獲得名号自然法爾御書」の考察

——特に「獲得名号」の因果を巡って……山田恵文

「行信論」再考——信珠院順藝と曾我量深を通して……光川眞翔

真宗学とは何か——如来の呼びかけを聞く学び……一楽 真

実践真宗学の姿勢——ビハール活動と臨床宗教師の実際……鍋島直樹

言の仏教学——願生論(十九)……安田理深 ほか



◆親鸞さんはなぜ神を 拝まなかったのか

——日本人のアイデンティティ「神道」を問う

野世信水著・四六判・367頁・3,300円〈永田文昌堂〉

親鸞の念仏の最も本質的な部分である神祇不拝。
その意味を明らかにし、仏教の本質とは何か、戦争や天皇
制などを含め、今日を生きる者としての課題を追求する。



一縁会テレフォン法話集

◆阿弥陀さまの`おはからい、`

一縁会編・四六判・107頁・880円〈自照社〉

三重の真宗寺院5カ寺によるテレフォン法話を活字化。
生かされ、はからわれて生きていることへの`気づき、と`よろ
こび、を、日常のエピソードを交えながらやさしく語るひと口法
話30篇。



◆同朋運動70周年記念大会記念誌

同朋運動70周年記念大会実行委員会編・A5判・141頁・880円〈阿吽社〉

浄土真宗本願寺派において推進されている同朋運動の70
周年記念大会の記録。同朋運動70周年記念大会並びに
法要は2020年12月10日に行われた。記念講演は前川喜平
氏によって「格差社会の現状と子どもの課題」が行われた。
(全文書き起こし)



◆寺院経営がピンチ！ 坊さんの覚悟

瑞田信弘著・四六判・186頁・1,320円〈アートヴィレッジ〉

地域の過疎化、葬儀社の台頭、家族葬ブーム、檀家制度の
崩壊、そしてコロナ禍……全国各地のお坊さんが苦戦
し、伝統ある寺院が廃寺に追い込まれている中で、これから
お寺はどうすればいい？ 香川県の現役住職が覚悟と情熱
をこめて語る、お寺・ご本山変革の提言書!!



◆サンユッタニカーヤ 女神との対話 第一巻

アルボムッレ・スマナサーラ著・A5判・378頁・4,950円〈サンガ新社〉

人類に長く読み継がれてきた初期仏教経典『サンユッタニカーヤ(相応部)』。その冒頭に収録されている「女神との対話」の第一経から第三十一経までを、パーリ語注釈書に添いながら丁寧に解説。さらに、ブッダの教えが現代人の生きる指針として役立つように大胆な新解釈を提示する!



◆玄奘三蔵——新たなる玄奘像をもとめて

佐久間秀範、近本謙介、本井牧子編・A5判・563頁・13,200円
〈勉誠出版〉

七世紀、遠くインドへ旅に赴き、多数の仏典・仏像を持ち帰り、東アジアにおける仏教の基盤を作り上げた仏者・玄奘三蔵。仏教学・文学・美術など多角的な視点から玄奘、および玄奘にまつわる思想・言説・図像を読み解く画期的論集。



◆仏菩薩の名前からわかる 大乘仏典の成立

田中公明著・四六判・360頁・3,300円〈春秋社〉

経典の冒頭で説法に参加する菩薩をあげるのは大乘経典の大きな特徴である。その菩薩名に焦点を当て、主要な大乘経典の成立史を論じ、在家菩薩の活躍から大乘仏教の成立にもふれた画期的な論考。



◆新装版 法句経 真理の言葉

山田無文著・四六判・239頁・2,420円〈春秋社〉

稀代の禅師が、世界各国で親しまれ釈迦の言葉に最も近いとされる経典『法句経』から名句を選び、流麗な訳文とともに、現代の逸話と重ねあわせて優しく語りかける名講話集。



◆ボン教

——弱者を生き抜くチベットの知恵

熊谷誠慈編著・三宅伸一郎、小西賢吾、ダニエル・ベロンスキー
チューコルツァン・ニマ・オーセル、箱孝孝彦、テンジン・ワンギェル、
リンポチェ著・四六判・245頁・2,530円〈創元社〉

チベットで1200年間、弱者として生き抜いてきたボン教。
困難な状況下でも無用な争いを避け、独自性にこだわる姿
勢を貫いてきた。知られざるボン教の歴史、文化、儀礼、思
想、教義などを概説する。瞑想法も紹介。



◆訳注 弁顕密二教論

松長有慶著・四六判・205頁・3,080円〈春秋社〉

なぜ密教はすぐれているのか。法身説法・果分可説の点から、唐から持ち帰った密教が仏教の中で最も勝れていることを喧伝した空海の初期の代表作に丁寧な解説を加え、わかりやすく読解した決定版。

《訳注シリーズ》最終巻！



構築された仏教思想10

◆^{かく ぼん}覚鑊——内観の聖者・即身成仏の実現

白石凌海著・四六判・201頁・1,760円〈佼成出版社〉

覚鑊（かくぼん、1095-1144）は、平安時代後期の真言宗中興の祖にして新義真言宗始祖。

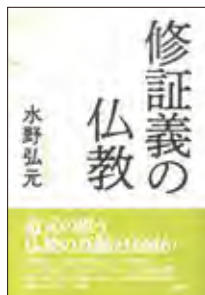
浄土思想を真言教学においていかに捉えるかを理論化した「密厳浄土」思想を唱え、「密教的浄土教」を大成した。その思想を、覚鑊の生涯を辿りながら綿密に読み解く。



◆新装版 修証義の仏教

水野弘元著・四六判・218頁・2,420円〈春秋社〉

『正法眼蔵』から道元の教えを抽出した『修証義』。
仏教の目的から心得ておくべき因果の道理、利他・報恩の生活といった仏教徒の根本精神と実践をわかりやすく解説した格好の仏教入門書。



◆ほんとうにすごい仏像図鑑

——不思議・神秘の謎を解き明かす！

長谷法寿監修・四六判・191頁・1,320円〈朝日新聞出版〉

仏像は「ほとけ」の姿を表したものとされていますが、歴代の天皇、貴族、地方官僚、武士たちが願いを叶えるべく、財力をもって贅を尽くして制作していたもの。

なにがすごいのか？ どこがどうすごいのか？

一般には知り得ない事実を徹底紹介しています。



NHK 100分de名著

◆金子みすゞ詩集

松本侑子講師・A5判・127頁・600円〈NHK出版〉

金子みすゞは明治時代に生まれ、大正中期から昭和初期に活躍した詩人。テキストでは、大正デモクラシーに誕生した「童謡詩」が、昭和の戦争の時代に衰退していく時代背景、みすゞの26年の生涯を紹介しながら、傑作詩28作品を読解する。みすゞ全集刊行の前後を伝える実弟の日記も初公開。写真・図版60点、関連年表、みすゞの投稿作品の順位表、本文中の76項目を解説する脚注など充実の資料付。



◆現代語訳 修験道聖典

——『役君形生記』『修験指南鈔』『修験修要秘決集』

宮家 準著・A5判・311頁・4,620円〈春秋社〉

中世後期の修験道確立期における役行者伝、熊野や大峰の神格の霊地、峰入を中心とする儀礼を中心とする教えを知るために必須の聖典「修験五書」のうち三書を初めて現代語訳し解題と注を付した、初心者にも修験道の真髄が学べる書。



◆古代天皇祭祀の研究

木村大樹著・A5判・367頁・12,100円〈吉川弘文館〉

古来、国家の安寧を祈り続けてきた大嘗祭・神今食・新嘗祭などの天皇祭祀には、今もなお不明瞭な部分が多い。古代天皇祭祀の実態・構造を、祭祀の中核たる神饌供進儀から詳細に分析し、御体御卜などの周辺諸祭儀との関連について考察。現代へとつながる神道の大きな歴史の中における天皇祭祀の意義を追究し、国家祭祀との二重構造論を展望する。



◆差別の日本史

塩見鮮一郎著・四六判・185頁・2,365円〈河出書房新社〉

差別・被差別の出来事からみた日本歴史通史。
古代の奴婢から現在のLGBTや「地名総鑑」問題まで網羅。
40の質問に回答する形で初心者向けにわかりやすく綴る。
差別の日本史入門編。



法蔵館書店新着雑誌案内

◆同朋 3月号

真宗大谷派宗務所出版部編・A4判・56頁・400円〈東本願寺出版〉

「仏教がみちびく、あらたな人生」をコンセプトに、生活に密着した話題から親鸞聖人の教えまで、日々の暮らしのなかにある大切なことを見つめる月刊誌。

■目次

◎インタビュー 浅田政志さん(写真家)

何気ない日常の記録が、後にその人を支えることがある。

◎特集 災害伝承——あの日の体験を未来へ伝える

・親鸞万華鏡……ゲスト:鍋島直樹

・小林聡美のぼちぼち是好日

・東本願寺界隈 今昔物語……「割烹いいむら」 ほか



◆大乘 3月号

大乘刊行会編・B5判・88頁・375円〈本願寺出版社〉

門信徒の家族が楽しく浄土真宗に親しむための月刊誌。お念仏のよろこびをご家族のみなさまにお届けします。研修会や勉強会にも最適！ 門徒推進員の方にもおすすめです。

■目次

・釈徹宗の随縁探訪……ゲスト:観山正見さん

・DAIJO法話「念仏者の生き方」……福岡義朝

・マンガ お釈迦さま物語「苦行放棄」……岡橋徹栄×一ノ瀬かおる

・親鸞聖人いまずば「決して孤独ではない」……西原龍哉

・教えて! 浄土真宗「真実行」……藤澤信照 ほか



特集1

近藤俊太郎先生『親鸞とマルクス主義』 「紀伊國屋じんぶん大賞」 ランクインおめでとう特集

弊社刊、近藤俊太郎著『親鸞とマルクス主義—闘争・イデオロギー・普遍性』が「紀伊國屋じんぶん大賞2022 読者と選ぶ人文書ベスト30」の第23位に選ばれました。今回の特集は、受賞した『親鸞とマルクス主義』をはじめ、近藤俊太郎先生の書籍を紹介します。

紀伊國屋じんぶん大賞23位にランクイン!

◆親鸞とマルクス主義

—闘争・イデオロギー・普遍性

近藤俊太郎著・A5判・544頁・8,250円
ISBN:978-4-8318-5565-7

近現代日本において、マルクス主義と交差した局面で構築された親鸞論に注目し、「親鸞を語る」という営為の思想史的意義を検証する。

(法蔵館)

「紀伊國屋じんぶん大賞」とは、

「読者の皆さまと共に優れた人文書を紹介し、魅力ある『書店空間』を作っていきたい」との思いから立ち上げられ、今年で12回目を迎えました。この企画における「人文書」とは、「哲学・思想、心理、宗教、歴史、社会、教育学、批評・評論」のジャンルに該当する書籍(文庫・新書も可)のことです。

2刷



◆近代の仏教思想と日本主義

石井公成監修・近藤俊太郎、名和達宜編・A5判・572頁・7,150円
ISBN:978-4-8318-5560-2

仏教者や知識人たちは、「日本主義」へ傾倒していく時代といかに向き合い、いかに仏教を再編したのか。その思想的格闘の軌跡を追う。

(法蔵館)

2刷



◆近代仏教スタディーズ

——仏教からみたもうひとつの近代

2刷

大谷栄一、吉永進一、近藤俊太郎編・A5判・298頁・2,530円
ISBN:978-4-8318-5543-5

廃仏毀釈などの逆境を乗り越え近代社会に影響を与え続けた「近代仏教」。その歴史と魅力を気鋭の研究者29名が描く、新近代史入門。
(法藏館)



【日本仏教史研究叢書】

◆天皇制国家と「精神主義」

——清沢満之とその門下

2刷

近藤俊太郎著・四六判・249頁・3,080円・ISBN:978-4-8318-6041-5

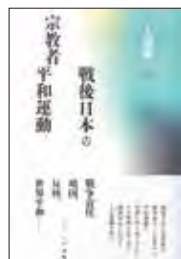
清沢満之とその門下による「精神主義」運動は、天皇制国家とどんな関係性を構築しえたのか？ 彼らの信仰と歴史的立場から解明。
(法藏館)



◆戦後日本の宗教者平和運動

大谷栄一編・四六判・358頁・3,960円

戦争責任、靖国、反核、世界平和——。戦後日本の宗教界は、戦争協力への反省から、平和運動に活発に取り組んできた。その軌跡を辿り直し、戦後社会におけるその意義を問う。近藤俊太郎先生は第1部 仏教と平和運動の第2章戦後日本における真宗者の反靖国運動を担当。
(ナカニシヤ出版)



3月6日(日)に「キリスト教とナショナリズム」研究会において、『親鸞とマルクス主義』の公開書評会がオンラインで開催されます。

第4回「キリスト教とナショナリズム」公開研究会 近藤俊太郎『親鸞とマルクス主義』との対話

日時:2022年3月6日(日)13:30~16:30

会場:オンライン(Zoom、事前申込み制)

趣旨説明:赤江達也 評者:名和達宣・栗田英彦・増田 斎
応答:近藤俊太郎

参加希望



事前申込み制ですので、参加希望の方は3月5日(土)17時までに右記のQRコードから参加申込みをお願いいたします。 奮ってご参加下さい。

特集2 市原栄光堂の 法話CD発売!

※=ISBN:978-4-8318-

稲城選恵先生の御文章講座4枚組

本作では御文章研究の第一人者であった稲城選恵先生(当時・本願寺教学本部副部長)に、御文章が書かれた時代背景、御文章の意義、その内容などをお話いただいております。月日を超えてよみがえる阿弥陀仏の願い、お浄土の声にぜひ、あなたも耳をお傾けください。

・佛典講座 御文章のこころ

CD4枚組・6,930円

- 1 蓮如上人とその時代(約49分)
- 2 親鸞と蓮如・その教えのかかわり(約56分)
- 3 御文章のあらまし(約54分)
- 4 御文章の中心問題(約54分)



■好評発売中!

稲城先生の蓮如上人関連書籍

- ・蓮如上人のことば 四六判・246頁・1,602円・※2311-3(法蔵館)
- ・蓮如教学の研究1~3 1・行信論/2・宿善論/3・異議論 A5判・平均313頁・各9,077円・1:※7870-0/2:※7897-7/3:※7898-4(法蔵館)
- ・真宗用語辞典 蓮如篇 A5変判・320頁・8,250円・※7017-9(法蔵館)

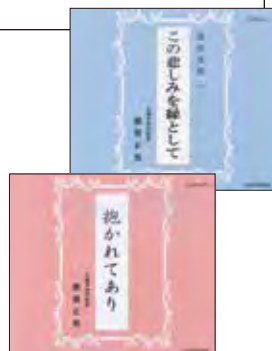
雑賀正晃先生の法話CD4点

各2,200円

和歌山出身で日本全国を布教使として飛び回られた雑賀正晃先生のお話です。

情熱的な語り口と、けれんのない表現で、ご縁のあった人々を魅了した雑賀先生のお話をぜひご聴聞ください。

- ・通夜法話一 この悲しみを縁として(51分)
- ・通夜法話二 別れは會う為にこそある(52分)
- ・抱かれてあり(53分)
- ・温もりの輪がひろがる(53分)



※本特集のCDはすべてCD-R仕様になっております。再生機器によっては正常に再生されない場合がございます。

今月の在庫僅少

◆光輪鈔 改訂版

金子大榮著・A5判・44頁・770円(在家仏教協会)

昭和51年の『親鸞教学』第29号の冒頭に掲載された小論を収載。同年初夏に「これが最後の原稿だ」と語って書かれたもので、金子師の絶筆となりました。念仏に生きる著者が、その一生の領解を要約した貴重な遺文です。

版元の解散により、現在の在庫がなくなり次第販売終了となりますので、お求めの方はお急ぎください。



◆竹中智秀選集 第一巻～第八巻

竹中智秀著・四六判・平均280頁・各2,860円(樹心社)

大谷専修学院の学院長を務められた竹中師が、同学院をはじめ各地で行った講義や法話をまとめた全8巻。巻によっては残りわずかとなっています。

全巻揃えたい方はお早めに！

- | | | | |
|-----|---------|-----|-------------|
| 第一巻 | 歎異抄講義 | 第五巻 | 阿弥陀の愛を学ぶ |
| 第二巻 | 四十八願講義Ⅰ | 第六巻 | 法蔵菩薩とわれわれ |
| 第三巻 | 四十八願講義Ⅱ | 第七巻 | 念仏者の証明 |
| 第四巻 | 青草びとの生活 | 第八巻 | 専修念仏の道場に生きて |



法蔵館



の本まつり

開催
予定

期間…4月1日(金)～3日(日)

時間…10:00～17:00(最終日は16時まで)

場所…法蔵館



今後の詳細情報は営業部Twitter、facebook等のSNSにて発信いたします。

◆◆◆法藏館書店売行ベスト10(2月期)◆◆◆

順位	書名	著者名	出版社名	定価(税込)
1	お寺の掲示板 諸法無我	江田智昭	新潮社	1,100円
2	ねえ、お坊さん教えてよ 死んだらどうなるの？	岡崎秀鷹 富島信海	本願寺出版社	1,760円
3	ねえ、お坊さん教えてよ どうしてお葬式をするの？	岡崎秀鷹 富島信海	本願寺出版社	1,760円
4	今日の宗教の可能性	大峯 顯	百華苑	1,320円
5	生死出づべき道——コロナの時代、 私たちはいかに生きるべきか	一楽 真	真宗大谷派 大阪教区第十二組	200円
6	お寺の掲示板	江田智昭	新潮社	1,100円
7	浄土真宗とは何か——『教行信証』のころ	金子大榮	東本願寺出版	825円
8	【新潮選書】考える親鸞——「私は間違っている」から始まる思想	碧海寿広	新潮社	1,595円
9	七日参りのお話——大切な人を送った人へ	竹中尚文	自照社出版	1,100円
10	真宗と現代葬儀——「葬儀」と「死」のゆくえ	蒲池勢至	法藏館	1,430円

【メール配信サービスのご案内】

法藏館書店では、WEBサイトで本をご購入いただいた方やアンケートにお答えいただいた方に新刊情報などのメール配信サービスを行っております。

◎アドレス変更・配信停止について◎

<http://www.hozokan.co.jp>のページ下の「メールサービス」から、メールアドレスの登録と解除を行ってください。過去のメールもご覧になれます。

◆ご注文・お問い合わせは、メールの他に、電話・FAX・はがきでも承ります。
店頭在庫がない場合はお取り寄せとなります。ご了承ください。

◆荷送料はご購入額合計により
定価16,500円(税込)未満 送料——450円 代引手数料 330円
定価16,500円(税込)以上 送料、代引手数料ともに無料

◆価格表示は全て税込価格です。

法藏館書店 友の会会員募集中!!

友の会に入会すると、割引や来店特典など多数の特典をご用意しております。

詳しくはここをクリック

法藏館書店 友の会 会員証



法藏館書店

住 所: 〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
電 話: 075-343-0458 FAX: 075-371-0458
発行人: 西村明高
E-mail: shop@hozokan.co.jp

[営業日および営業時間]
月～土: 9:30～18:00
祝 日: 10:30～18:00
(休業日: 毎週日曜日・お盆・年末年始)

<http://www.hozokan.co.jp>

仏教の風

検索



仏教書総目録刊行会 <http://www.bukkyosyo.gr.jp>

法藏館ブログ「編集室の机から」を更新中!

twitter

facebook

つぶやき中～!

